

18 金ヶ崎町

各自治会の地域づくり計画による地域課題の解決を支援するため、町協働支援事業(補助金)を創設、これにより、途絶えていた離子屋台の復活公演や地域の史跡の環境整備が地域住民の手で行われる等、住民が主体的にまちづくりに取り組んでいます。また、生活圏毎に「地域活性化委員会」を設立し、生涯学習と地域づくりが一体となった取り組みを進めています。



20 大船渡市

大船渡市民芸術祭は、震災のあった平成23年度も参加部門、作品数の減少があったものの、途切れることなく開催を続けてきました。活動の場所を確保できない状況の中でも、芸術祭の開催により町民に多くの感動を与えました。今年度も昨年同様リアスホールでの開催となり、開催日を前後期に分け作品数を抑えた開催となりますが、地域の芸術文化活動の発展と、振興を図ります。



22 大槌町

今年度で第42回を迎える大槌町民文化祭は、昭和46年より開催されており、大槌町中央公民館が建造された昭和52年には、11,447名もの入場者がありました。震災後、人口が大幅に減少し、出品数も入場者数も減少しておりますが、依然として町民にとっての生涯学習の成果の発表の場、目標として大きな役割を担っています。



24 山田町

山田町では、町民一人ひとりが生涯を通じて自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう総合的な推進を図り、人が集える場の提供、学びやスポーツを通して心のサポートや生きがいを見出すことのできる体制の構築に取り組んでいます。また、高台移転等による新たなコミュニティ形成に向け、地区講座やニーズに合わせた支援を続けていくことが必要となっています。



26 田野畑村

学校・家庭・地域・行政が連携して、次代を担う豊かな人間性を備えた子どもを育成するため、村民一人ひとりが教育の重要性を認識し、本村における教育のあり方を考える機会とすることを目的としている田野畑村教育の日のつどいや、青森県藤崎町の小学5年生や埼玉県深谷市の小学5、6年生と田野畑の小学生の交流事業を開催しています。



19 平泉町

世界遺産のまち平泉町では、「地域で子育てを」の合言葉を掲げ、平泉町内の児童・生徒のための教育水準の向上を目指し、『郷土に誇りを持ち、明日の平泉を担う子どもたちを育もう』をテーマに、5者(子ども、家庭、学校、地域、行政)が相互に連携・協力し、より良い教育環境の整備を進めています。



21 陸前高田市

「海と緑と太陽との共生・海浜新都市の創造」を未来像とした「陸前高田市震災復興計画」を策定し、国・県はもとより市民、事業者、さらには市内外の多くの方々との協働、連携により、「世界に誇れる美しいまち」、「ひとを育て、命の絆を守るまち」、「活力あふれるまち」の創造を目指し、市民が一丸となって復興に向けて取り組んでいます。



23 宮古市教育委員会

東日本大震災の発生から2年半が経過しましたが、今日までに被災した教育関連施設の復旧・復興はもとより、被災した家庭の児童生徒の支援も含めた教育環境の再建について、最優先に取り組んでまいりました。特に、「家庭教育の支援」や「放課後子ども教室」の展開に力を入れて取り組みを進めているところです。



25 岩泉町

町民一人ひとりが、生涯学習することを通じて、物質的な豊かさに加え、精神的な豊かさや健康を求め、健康で生きがいのある人生を過ごし、それぞれの自己実現を図るための、文化活動、ボランティア活動、地域活動などの生涯学習情報の提供及び学習活動の支援を図り、その成果が日常生活に生かされるとともに、町づくりにも活用されるような生涯学習社会を目指し取り組んでいます。



27 「久慈市民おらほーる劇場」

久慈市山形町にある「おらほーる」を会場として、平成19年度の久慈市演劇ワークショップの成果発表としてスタート。毎年、久慈市の主催事業として、地域、住民、行政が一体となって、市民の手づくりで舞台公演の発表を続けています。小学生から70代まで幅広い年齢の方が参加し、役者だけでなく脚本、演出、舞台美術、音響、照明等のスタッフの活動も、ワークショップ等の人材育成の成果として全て市民によって行われています。



29 二戸市

市内の中学1・2年生とその保護者を対象に「槻陰さきぼう塾」を実施し、将来の進路を考え、高い志を持って自己実現と社会貢献を目指す青少年を育成するとともに、親子のふれあいを深め、併せて親自身への生涯学習機会として、生きがいのある生活環境づくりに取り組んでいます。



31 放課後子ども教室 野田キッズセンター

子どもたちの思いやりや行動力、協調性、前向きに生きていく力など、心の豊かさを身に付けさせるための「ふれあいの場」として、子どもたちが安心してさまざまな体験活動ができる機会を設けるとともに、地域全体で子どもたちの安全と健やかな成長を支えることを目的として開設しています。



33 かるまい朗読会実行委員会

読書離れや活字離れが深刻化し、ものの考え方が利便化し、短絡的な行動をとる傾向がみられる今日、心を揺さぶる朗読により人間性を見つめなおし、読書意欲を高める機会とするため活動しています。事業開催までに実行委員会を数回開催し、チケット販売を主な収入とし、ポスター等で事業周知を図っています。実行委員は、図書館関係者(民間)・読み聞かせ等の読書推進関係者・学校関係者等で構成しています。



35 九戸村

県立伊保内高校の生徒による「地域子ども読書会」は今年で35年目になり、読書推進事業優秀実践校文部大臣表彰、善行青少年表彰、小さな親切運動実行章を受賞するなど、高校生による読み聞かせ活動として注目を浴びている活動です。地域子ども読書会は、小学校が冬休みの期間に行われ、村内各集落施設で高校生が小学生に対して読み聞かせ・紙芝居等を行うものです。



28 久慈市民文化会館 アンバーホール

東北有数の音環境重視型大ホール等を備える文化会館。世界的にも著名な音楽家を芸術監督に迎え、国内はもとより海外からも多くの芸術家を招いたコンサート等を開催しています。また市民による芸術活動の創造、育成にも力をそそぎ、「吹奏楽クリニック」「合唱ワークショップ」等、市民参加型の事業を積極的に展開し、個性豊かな芸術・文化の総合拠点施設となっています。



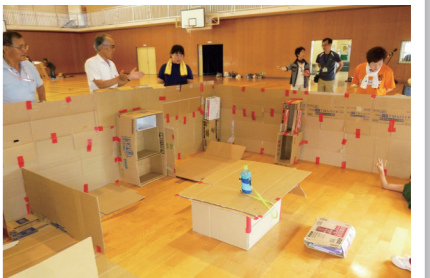
30 洋野町大野地区学校支援地域本部

大野小学校は、学びの場として体験学習の拠点となっている「おおのキャンパス」を最大限に活用できる環境にあります。地域は、学校への理解や関心、支援意欲が高く、特に学校給食は、地場産品の「大野木工の器」を使い、「一人一芸の里」の思いを受け継いでいます。地域住民の学校や子どもへの熱い思いがあふれ、豊富な地域資源と地域住民の「知恵と技、エネルギー」を活かした、教科等の学習を中心とした学校支援事業を行っています。



32 普代村教育振興運動推進委員会

震災を踏まえた新たな教育課題への取り組みとして、教育振興運動実践組織を活用した防災研修を実施しました。復興教育への取り組みとして体験活動「ダンボールで避難所作りと避難所生活体験」、午後からはワークショップを開催し、防災について子どもと大人が一緒になって協働で学ぶ実践の機会となりました。



34 一戸町

町民が健やかで心豊かに生活できる社会の実現を目指し、一人ひとりが生涯を通じて学ぶことが出来る環境づくり、ボランティア活動や健康づくり活動の推進、社会福祉の向上について、意識の高揚や実践活動の普及を図るため、「いちのへ・いきいきフェスタ」を開催しています。生涯学習課と健康福祉課など複数の部署が連携して開催しており、学習活動や健康づくりについて、幅広く紹介する機会となっています。

